



読むこと・書くこと

紹介文

組

番
名前

やってみよう!

(高学年)

【内容理解】

説明文を読み、条件に合わせて自分の考えを書く。

- 林さんの学級では、総合的な学習の時間に地域の歴史について調べることになりました。そこで、大津市の三井寺にある「弁慶鐘」を見学し、それにまつわる話を聞くことにしました。



【見学で聞いたお話】

三井寺の名宝の一つに弁慶鐘があります。この鐘は、俵藤太秀郷が三上山を七巻半もしたムカデを瀬田の唐橋から弓矢で退治した時、比叡湖にすむ龍神からほうびとしてもらった十種の宝のうちの一つで、ここ三井寺に寄進されました。それから三百年ほどして、山門（比叡山）と三井寺との間に争いがおこりました。その時、比叡山西塔にいた弁慶が、ここ三井寺に攻めてきて、この鐘をうばって比叡山まで引きずっていきました。比叡山ではこの鐘をつくと、「ゴーンゴーン」とは鳴らなくて、「イノーイノー（帰ろう帰ろう）」と鳴るのです。そこで弁慶はおこって「そんなに帰りたいのなら、とつとつと帰れ」と弁慶鐘を谷へ突き落としてしまいました。この鐘の傷やひびは、その時のものだと言われています。

三井寺には弁けいがねがある。そのかねには、傷がある。俵藤太秀郷がムカデ退治のときほうびとしてもらった。

【林さんのふせん】

かねの音が「イノーイノー」となる。「イノー」とは、帰ろうという意味。

弁けいは、おこってかねを谷へ突き落とした。

↑わたしの意見↓
みんなに訪ねてほしい。

見学の後、聞いたことをもとに紹介文を書こうとしています。次の条件に合わせて書きましよう。

△条件▽

- 【見学で聞いたお話】と【林さんのふせん】をもとにして書くこと。
- 「問いかけ」「事実」「呼びかけ」の文章構成になるように書き出しの「問いかけ」の文に続けて、百字以上、百二十字以内で書くこと。なお、書き出しの部分は字数にふくみません。

三井寺の弁けいがねを知っていますか。



読むこと・書くこと

紹介文

組

番 名前

やってみよう!

(高学年)

【内容理解】

説明文を読み、条件に合わせて自分の考えを書く。

- 林さんの学級では、総合的な学習の時間に地域の歴史について調べることになりました。そこで、大津市の三井寺にある「弁慶鐘」を見学し、それにまつわる話を聞くことにしました。

【見学で聞いたお話】



三井寺の名宝の一つに弁慶鐘があります。この鐘は、依藤太秀郷が三上山を七巻半もしたムカデを瀬田の唐橋から弓矢で退治した時、比叡湖にすむ龍神からほうびとしてもらった十種の宝のうちの一つで、ここ三井寺に寄進されました。

それから三百年ほどして、山門（比叡山）と三井寺との間に争いがおこりました。その時、比叡山西塔にいた弁慶が、ここ三井寺に攻めてきて、この鐘をうばって比叡山まで引きずっていきました。比叡山ではこの鐘をつくと、「ゴーンゴーン」とは鳴らなくて、「イノーイノー（帰ろう帰ろう）」と鳴るのです。そこで弁慶はおこって

「そんなに帰りたいのなら、とつとと帰れ」と弁慶鐘を谷へ突き落としてしまいました。

この鐘の傷やひびは、その時のものだとされています。

見学の後、聞いたことをもとに紹介文を書こうとしています。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○「見学で聞いたお話」と【林さんのふせん】をもとにして書くこと。

○「問いかけ」「事実」「呼びかけ」の文章構成になるように書き出しの「問いかけ」の文に続けて、百字以上、百二十字以内で書くこと。なお、書き出しの部分は字数にふくみません。

三井寺の弁けいがねを知っていますか。このかねには、傷があります。この傷は、弁けいが突き落とした時にできたものと言われています。なぜかというと鳴らした時に帰ろうという意味の「イノー」という音が鳴り、弁けいをおこらせたからです。歴史のあるかねをぜひ一度見に行ってください。(116字)

三井寺には弁けいがねがある。そのかねには、傷がある。

依藤太秀郷がムカデ退治のときほうびとしてもらった。

【林さんのふせん】

かねの音が「イノーイノー」となる。「イノー」とは、帰ろうという意味。

弁けいは、おこってかねを谷へ突き落とした。

↑わたしの意見↓
みんなに訪ねてほしい。

